

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



浦川友喜さんの生け花

有田小版 学校かくれんぼ 行いました！

今年度、子ども達の発案で有田小学校を更に楽しくすることを9月の代表委員会で話し合いましたと思います。その中で、子ども達からは、全校児童による、全校鬼ごっこと学校かくれんぼ、ありがとうでいっぱいにすることが提案されました。ありがとうでいっぱいにすることは、ランチルーム前の掲示版に、有田っ子が嬉しくなるありがとうのこたばを掲示しています。



また、全校鬼ごっこや学校かくれんぼは、先週、朝の時間や1時間目に行いました。計画や準備、実施も子ども達が行いました。学校かくれんぼは、民放テレビの番組をヒントに、6年生の男の子が私に実施を希望することを夏休みに伝えました。それを受けて、子どもが自分たちでやりたいことをどうすればできるかを考え、準備をして実施することは、これからの時代を担う子ども達にとって、大切な挑戦することの第一歩であり、私が赴任した時からめざしてきた、子ども達の姿や考えを見える化することにもつながります。学校の主役は、子ども達です。教師や保護者さん、地域の方々は、それを見守りつつ、適切な助言をして生きる力を高めていくことが求められています。その意味で、6年生の男の子の発案は、教育的価値があり、代表委員会や職員会議を通して、準備不足な点やこうすればもっと楽しくなる点を子ども達に伝え、自分たちでその解決策を話し合い、実施することができました。端から見れば、遊びかも知れませんが、遊びの中こそ、学びがあります。それを如何に価値あるものにしていくかが大人の役割だと考えます。



5年生の子ども達の進行でルールを説明したり、運動場いっぱい逃げたりして楽しく鬼ごっこができました。



6年生の子ども達の進行で、全校児童がグループ毎に探したり、隠れた6年生が見つかったり、賞状を渡したりしました。

今回の子ども達からの3つの提案を見える形にしたことで、有田っ子は挑戦する大切さと、やるからにはみんなが楽しめる方法を考え出すことを体現できたと考えます。有田小学校は、これからも子ども達と大人がともに創っていく、特色ある学校をめざしていきます。

算数科の授業研究会を続けています！

今年度は、5月の4年生、9月の6年生に続き、10月に2年生、5年生、1年生、なかよし学級、11月に3年生が算数科における校内での授業研究会を行います。先週水曜日に、西部教育事務所から峯啓太指導主事を招き、授業参観と事後研究会を行いました。5年生の子ども達は、いつも以上にやる気があり、算数科の多角形の面積の求め方を考えました。これまで学習した三角形の面積の求め方をいかして、三角形に分割しその和を求めることができました。参観した他の学年の担任から、子ども達が自分たちで面積の求め方を考えたり、教え合ったり、説明したりすることができていたと、事後研究会での発言がありました。また、担任の加藤夏実先生が、児童が学習を進める上で考えるときの着眼点、まとめにつながることを算数ポイントとして提示したことが効果的であったことが分かりました。これからも一人ひとりが考えたことをみんなで話し合うためには、児童が説明することを持続していきます。そして、少人数の子ども達だからこそ、しっかりと学力をつけていきます。



多角形の面積の求め方の見通しをもち、一人ひとりが具体物やタブレットで考え、グループや全体で話し合いました。

教育実習生、深海彩乃さん、ありがとうございました！

同じく5年生の学級で3週間の教育実習を行っていた、深海彩乃さんが先週末で大学に戻りました。5年生だけでなく、他の学年での参観や子ども達との関わりを積極的に行いました。来春から県内の学校で勤務される予定だそうです。有田小学校の卒業生として、これからも、有田っ子の成長を楽しみにされると思います。深海さん、教育実習、お疲れさまでした。ありがとうございました。



理科で川の上・中・下流での石の大きさや形について、アルミ缶を使った実験や子ども達とのやりとりを通して指導しました。

やきもの教室での絵付け、ありがとうございます！

3年生に村上さんご夫妻、5年生に辻さんがご指導を頂きました。子ども達の発想や感覚を



2年生は部屋を彩るすてきな陶縁を、5年生は自分だけのオリジナルマグカップを作りました。大切にされつつ、的確なアドバイスをされていました。有田小の子ども達は、毎年、すばらしい陶芸体験を重ねることができています。焼き上がりが、とても楽しみです。ありがとうございました。